

《1955C》

IV-NO.1 表紙

』[改頁、以下同]

4月19日 G.H. of NO.19'

an alone W.L

当貯水池の function は monsoon による乾雨季の流量を平均化するための ammonal control である。

しかも、当地点と発電所との距離は河の全長に比して割合に近く当 dam 下流の残流域は比較的小さい

(之は namlet dam と性格の違う大きい点である)従って年間略一定の放流量を必要とする。この放流源を発電に利用してもいいか、勿論

落差に変動がある max 放流の時は $10\text{m} \times 20\text{m}^3/\text{see} \times 9.8 \div 2000\text{km}$ 石岸に作る。

さて年間室定流量放流するために over flow on spilway が年間を通じて水が落ちるから P.S.を作らない限り soring 問題になる

』